

今だからこそ「生きさせろ！」

生きづらさと、貧困、戦争、そして民主主義

あまみや かりん

お話し 雨宮 処凜さん (作家・活動家)

トーク参加 SEALDs 加藤友志さん (東京学芸大学4年)

■「アベノミクス」は絶対いらない、経済にデモクラシーを！

「保育園落ちた、日本死ね」のブログが共感を呼び、安倍政権への痛烈なパンチになりました。「アベノミクス」で大企業は収益をたっぷりと内部にため込み、富裕層だけが株で潤い、働く者は非正規雇用か派遣労働、学生は奨学金返済で苦しんでいます。

雨宮さんは、怒りを込めて「アベノミクスは絶対いらない、経済にデモクラシーを！」と訴えます。

格差・貧困の現場と安倍政権の暴走に怒る若者たちやママの行動について、そして戦争と貧困の親和性や改憲問題について、シールズ※の加藤友志さんも参加して雨宮さんにお話しいただきます。 ※SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)

■雨宮処凜さんプロフィール

1975年東京生まれ。作家・活動家。00年、自伝的エッセイ『生き地獄天国』(太田出版/ちくま文庫)でデビュー。以来、「生きづらさ」についての著作を発表する一方、イラクや北朝鮮への渡航を重ねる。06年からは新自由主義のもと、不安定さを強えられる人々「プレカリアート」問題に取り組み、取材、執筆、運動中。メディアなどでも積極的に発言。

311以降は脱原発運動にも取り組む。「反貧困ネットワーク」世話人、「週刊金曜日」編集委員

主な著書 『生きさせろ! 難民化する若者たち』(太田出版/ちくま文庫)はJCJ賞(日本ジャーナリスト会議賞)を受賞。

『命が踏みにじられる国で、声を上げ続けるということ』(創出版)、『14歳からの戦争のリアル』(河出書房新社)他多数



憲法9条を守り活用しよう。みなさまの参加をお待ちしています。

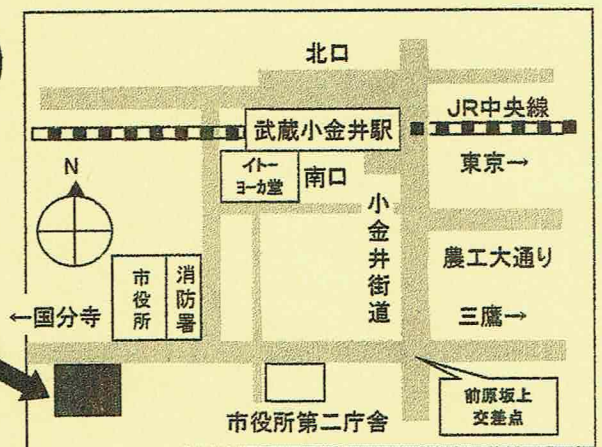
日時 2016年6月5日(日)

午前10時～12時15分

会場 市民会館萌え木ホール
(小金井市商工会館3階)

★事前申し込み不要、直接会場にお越しください

資料代 500円(学生無料)



主催 小金井を住みよくする会(顧問:針生誠吉・都立大名誉教授・憲法学)

連絡先 小金井を住みよくする会事務局・内田 電話 090-3813-7739

小金井を住みよくする会ホームページ <http://koganei-sumiyoku.jimdo.com/>